

《今号のニュース》

- 巻頭言
- 第16回社会福祉大会開催
- 令和5年度
天理教保護司連盟総会開催
- 会計監査
- インフォメーション
- 表彰

天理教保護司連盟



~MICHIBIKI~



◀導第28号
データ版

第28号

立教186年6月25日
編集・発行 天理教保護司連盟
天理市三島町1-1 社会福祉課内
TEL: 0743-63-6161
MAIL: kyo-ho-min@tenrikyo.or.jp

巻頭言

「保護司生活三十一年を振り返って
(定年を来年に控えて)」

天理教保護司連盟委員

坂口 登美子

平成四年五月保護司拝命以来三十一年間、平成十五年天理教保護司連盟委員に任命、平成二十年委員会会計、平成二十二年より本会計を託され、長きにわたり皆様方のサポートを頂きつとめてまいりました。

また、平成五年より行われていた教誨師・篤志面接委員・保護司・民生児童委員連盟合同地方大会は平成二十四年東京大会で幕を閉じ、この間主人とほとんど参加させて頂いておりました。

新たに保護司連盟独自のブロック大会は、大分にて始まり、昨年の熊本での九州大会で十回を数えました。

更には、平成十八年の天理教保護司連盟創立五十周年、平成二十八年の六十年記念大会も開催されました。

在りし日の先輩先生方のお名前を名簿で改めて拝見し、なんと多くの方々にご指導頂いたことかと懐かしく思っております。拝命された時、おたすけが不得意な私に神様が与えて下さったと深く感じ、どの方にもともかく低い心、温かい

心、優しい心で接することを心情に歩んでまいりました。

令和二年秋の叙勲で瑞宝双光章の栄を頂きました時、四年程お世話させて頂いた方から葉書を頂きました。抜粋しますと、「この度の受章を新聞記事で知りました。長年の見返りを求めない献身がこのような形でいくらかでも報われたのであれば喜ばしいことです。心よりお祝い申し上げます」と、私の方こそこの言葉に励まされました。三十有余年を振り返る時、対象者さんと共に成人してきたように思います。

また、何よりも家族の大きな支えがなければ、ここまでやってこれなかったと改めて感謝しています。つくづく一人では何事もなし得ない、縁のあった全ての方々のお蔭と存じます。

天理教保護司連盟が確固たる教祖の御教えに基づき、信仰者として深く深く対象者に寄り添い、保護司活動の輪を広げ、益々発展なされることを祈念申し上げます。



第16回社会福祉大会開催

日時 令和5年4月25日(火)
会場 南右第二棟4階陽気ホール

4月25日陽気ホールで第16回「社会福祉大会」が開催された。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策は個人に委ねられ、社会福祉課の関係役職者331名が参集した。式典では、松村登美和・布教部長の挨拶に立ち、教祖140年祭に向けて教祖の残してくださったひながたを通らせていただくことの重要性を話された。

続く特別講演では、脚本家の久松真一氏が「想像と創造、そして感動」と題して、NHKドラマ『生きて、ふたたび 保護



脚本家 久松真一氏 特別講演の様子(於:陽気ホール)

司・深谷善輔』の自身が脚本を担当した際にまつわるエピソードを話され、更に「この世の中で、罪を犯した人の居場所となる保護司の役割はとても重要で天の理にかなっていると思う」と話された。

午後からは各連盟・委員会ごとに分かれて、総会や分科会が実施された。

令和5年度

天理教保護司連盟総会開催

期 日 令和5年4月25日(火)
会場 南右第二棟3階
参加者 26名

4月25日午後1時より、おやさとやかた南右第二棟3階で天理教保護司連盟総会を開催した。三殿遙拝後、伊藤逸雄・副委員長の開会の辞、北嶋眞二郎・委員長の挨拶の後、議題に入った。令和4年度の会務報告、会計決算ならびに監査報告の審議がまず行われ、令和5年度の活動計画に続き、会計予算案が発表され、滞りなく全ての議題は了承された。

そして、村田幸喜・社会福祉課長より挨拶を頂戴した後、阪倉喜一郎・副委員長の閉会の辞をもって今年度の総会は終了した。

休憩後は、森建設株式会社代表取締役・森吉三郎氏が「協力雇用主の経過と現状、課題について」と題して講演され、長年協力雇用主として経験されたことや苦労されたことなどを聞かせて頂く貴重な時間となった。

※講演録は「導」別冊として今回の配布物に同封しております。



令和 4 年度決算及び 5 年度予算

令和4年度収入合計	792,516 円
令和4年度支出合計	376,436 円
令和4年度 繰越金	416,080 円

収入の部

項目	当初予算額	決算額	令和5年度予算	備考
繰越金	505,514	505,514	416,080	
会費	290,000	287,000	290,000	
寄付金	0	0		
受取利子	0	2	2	
合計	795,514	792,516	706,082	

支出の部

項目	当初予算額	決算額	令和5年度予算	備考
社会福祉大会	20,000	19,769	20,000	講師土産・会議費・反省会費他
おやさと研修会諸費	80,000	12,363	80,000	講師土産代 講師接待費 研修会用お茶65名参加予定3箱
事務費	20,000	72,818	60,000	導印刷代2回 13,315円 クリーム上質紙2回 51,920円 ハッピ代 7,000円 領収書 363円 硬貨料金代110円×2
通信費	20,000	11,486	20,000	はがき・レターパック・角封筒他
礼遇諸費	50,000	30,000	50,000	講師御礼。福祉課御礼
委員会助成金	80,000	80,000	80,000	
ブロック大会費	100,000	150,000	150,000	決算報告書は別紙配布済
予備費	425,514		246,082	
合計	795,514	376,436	706,082	

監査報告

令和 5 年 4 月 25 日監査したところ、帳簿の記載並びに証拠書類等は適正且つ正確に処理されておりました

年会費納入について

天理教保護司連盟では、会員の皆様に、年会費納入をお願いしております。何卒、ご協力の程、よろしくお願い致します。

○年会費 1 人 1,000 円

下記の教区は教区で一括払い

奈良、京都、三重、兵庫、静岡、愛知、岐阜、徳島、高知、愛媛、香川、東京、千葉、埼玉、福井、石川、岡山、山口、長崎、鹿児島、北海道 空知支部・札幌中南支部・網走支部、岩手

インフォメーション

おやさと研修会開催案内

日時 令和5年8月25日(金)
会場 社会福祉課研修室

【主なプログラム】

13時 受付
13時20分 開会の辞、委員長挨拶、
社会福祉課長挨拶
14時 「心操る危険な組織から
人々を守るために」

講演 白熊 繁一先生

中千住分教会前会長
東京保護観察所保護司

15時30分 質疑応答
16時15分 閉会の辞、終了後移動
17時 意見交換会・懇親会
会場 櫻井詰所
参加費 1000円

参加を希望される方は、同封の「おやさと研修会ご案内」に記載の方法でお申込下さい。

第11回ようばく保護司研修会

北海道ブロック大会開催案内

日時 令和5年11月28日(火) 13時開会
29日(水) 12時解散
会場 集合・研修会場 北海道教務支庁
情報交換会・宿泊場所 羽幌分教会

【主なプログラム】

第一日目 11月28日
記念撮影、開会式
研修Ⅰ

(講義①) 「更生保護の現状と課題」

札幌保護観察所長

(講義②) 「自立準備ホーム制度と

北海道の現状」

札幌保護観察所企画調整課長
研修Ⅱ 実践報告①天理教男能富分教会
研修Ⅲ 記念講演 脚本家・久松真一氏
情報交換会

第二日目 11月29日

研修Ⅳ

(講義③) 「天理教の社会福祉活動と

おたすけ」

天理教布教部社会福祉課長

研修Ⅴ 実践報告② 天理教釧正分教会

研修Ⅵ 天理教保護司連盟の

活動についての説明

閉会式

9月より申込を開始します。北海道にお住いの会員に改めて案内を送付いたします。

表彰

立教百八十六年上半期に叙勲された方

○藍綬褒章

都築隆道 (愛知教区・本愛大・明愛分)

誠におめでとうございます。

あとがき

連盟の事務局を担当して2年目に入りました。コロナによって規制されていた活動や行事が徐々に緩和されてきており、天理教保護司連盟としての活動も今後は活発になっていくと思われるので、私自身も出来る事を増やせていけるように努めて参ります。

高橋